

世界を魅了する日本の伝統

日本酒の輸出

- 神戸港の輸出数量は 28 年連続全国シェア 1 位！
- 神戸港の輸出金額は 2025 年僅差で 1 位！

1. はじめに

寒さが一段と厳しくなり、熱燗がいっそう美味しく感じられる季節となりました。

日本酒文化を育んできた兵庫県は、日本三大酒どころの一つである灘をはじめ、“清酒発祥の地”として知られる伊丹（諸説あります。）を擁し、日本一の日本酒生産量を誇っています。

江戸時代には、京阪地方で造られた酒を江戸へ運ぶ「樽廻船（たるかいせん）」の

主要な出発地として西宮が栄え、多くの回船が行き交いました。こうした歴史を受け継ぎ、現在の神戸港もまた、日本有数の日本酒輸出港として重要な役割を担っています。神戸港の日本酒輸出量は 28 年連続で全国シェア 1 位を維持し、輸出金額においても 2024 年、2025 年と全国 1 位を記録しました。

日本酒の魅力は今、世界へと広がりを見せ、輸出は年々増加しています。2024 年 12 月には「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録され、日本の酒文化が国際的に高く評価されたことを象徴する出来事となりました。

本特集では、今後さらなる海外での認知拡大が期待される日本酒の輸出について取り上げます。

- ・ 本資料でいう「日本酒」は、輸出統計品目表 2206.00-200 の「清酒」を集計したものです。
- ・ 本資料は統計として比較可能な 1988 年以降のデータを基礎としています。
- ・ 本資料における 2024 年以前の数値は確定値、2025 年の数値は確報値です。
- ・ 金額は百万円単位で四捨五入実施。



2. 貿易動向

(1) 輸出実績推移

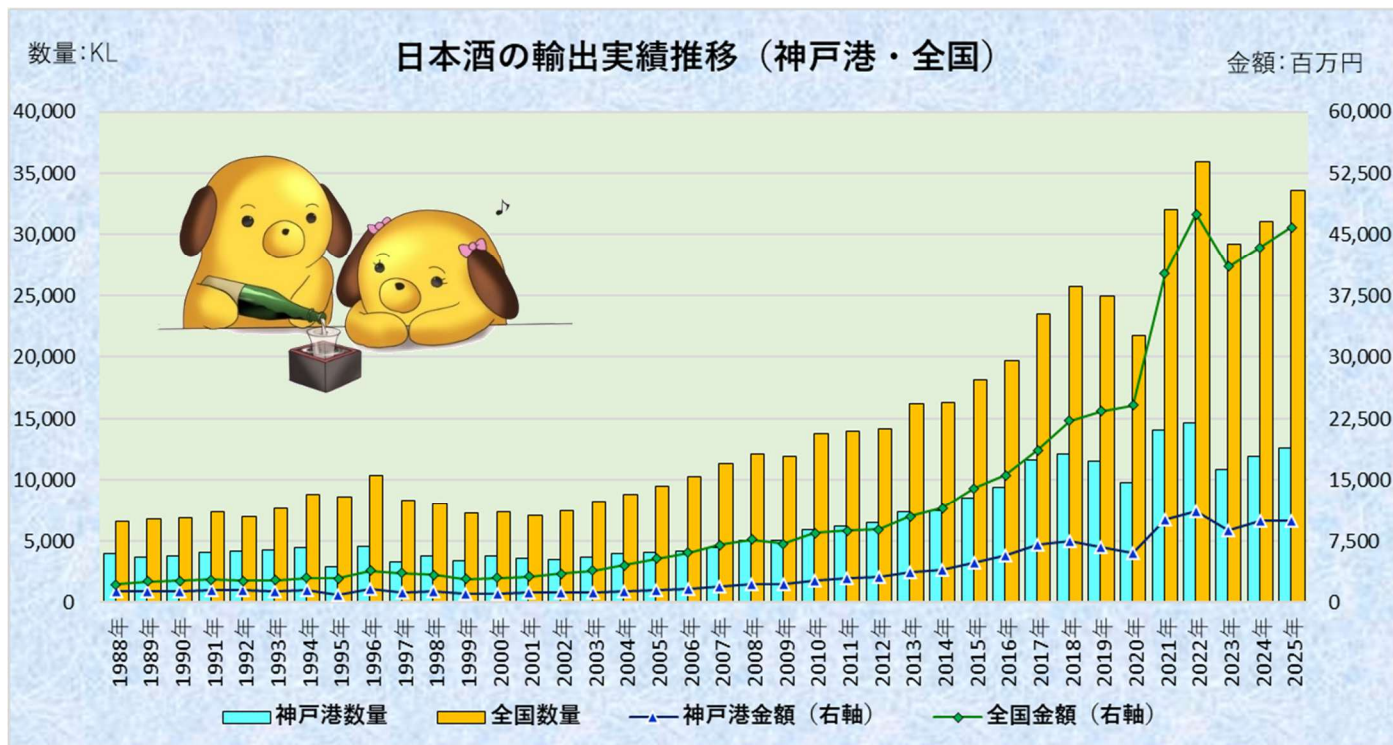
・コロナ禍明けに大きな伸び！

2025 年日本酒の輸出は

〔神戸港〕 数量 12,604KL、金額 99 億 7,100 万円

〔全 国〕 数量 33,549KL、金額 458 億 7,900 万円

となりました。



日本酒の輸出は、日本食文化の世界的な広がりとは歩調を合わせるように、長期的に拡大傾向で推移しています。2013年に「和食」がユネスコ無形文化遺産へ登録されたことを契機に海外での日本酒の認知度が一段と高まり、輸出量は着実に伸び続けました。

2020年には新型コロナウイルスの影響で一時的に減少したものの、コロナ禍明けとなった2021年から2022年にかけて輸出は大きく回復し、過去に例を見ない伸びを示しました。その後、2023年にはその反動で減少に転じましたが、業界では、成長局面にあっても一定の波は避けられないという認識であるそうです。現在では輸出量は持ち直し、全体としては日本酒市場の拡大基調が続いています。

『伝統的酒造り』のユネスコ登録について、業界からは、和食登録時と比較すると現時点での反響はまだ途上にあるものの、今後の普及・定着に向け、継続的なPRの取組が重要との声が上がっています。

○酒米について

日本酒づくりに用いられるお米は「酒米（さかまい）」と呼ばれます。酒造りに適した酒米の条件としては、「粒が大きいこと」「たんぱく質が少ないこと」「心白（しんぱく）が大きいこと」が挙げられます。精米時により多く削るほど雑味が減り、透明感のある上質な味わいになるとされています。また、たんぱく質が多いと雑味の原因となるため、含有量の少なさは重要なポイントです。さらに、米の中心にある白く不透明な部分である「心白」は麹菌が食い込みやすく、発酵をスムーズに進める役割を果たします。

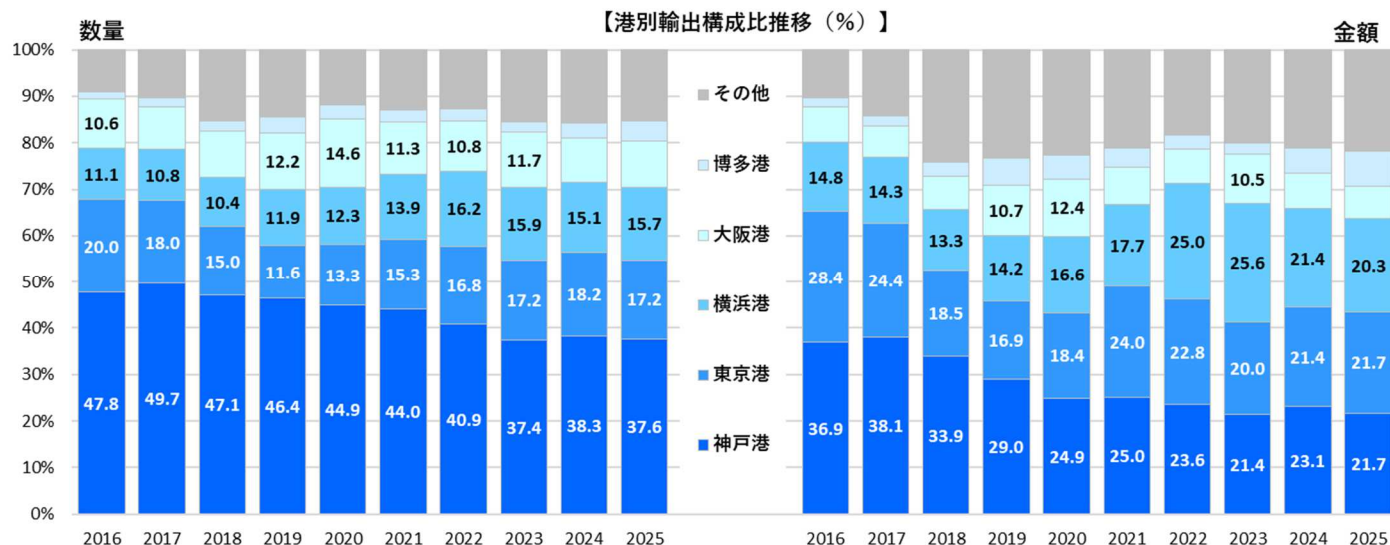
2025年は全国的な米不足の影響を受け、多くの酒蔵で酒米の確保が困難となりました。酒造会社の方によれば、米価の高騰によって商品価格にも影響が避けられない状況になったとのこと。これまで酒米農家との安定した取引のために、買取保証や複数年契約といった取り組みを行っていましたが、今回の事態を受け、今後はより一層、生産者との連携を強化し、継続的な酒造りを守っていききたいとのことでした。



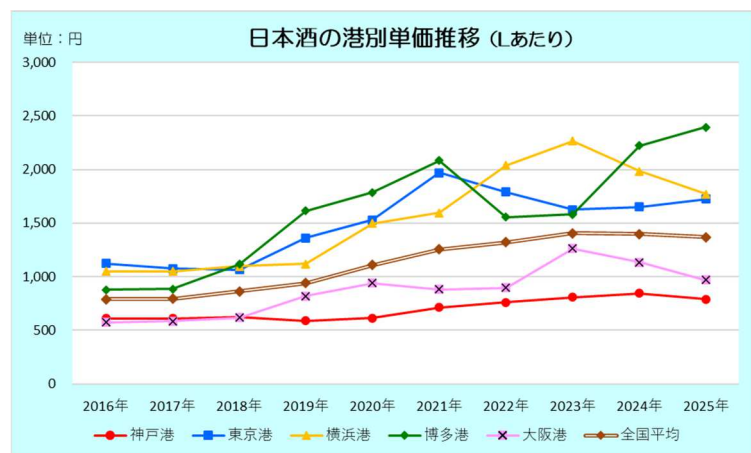
(2) 港別輸出実績

・神戸港の輸出数量は 28 年連続トップ！

2025 年の神戸港の輸出シェアは、数量が 37.6% で 1 位、金額においては 21.7% と同率の東京港を約 1,400 万円上回り、2 年連続で全国 1 位となりました。



推移グラフをみると、神戸港のシェアは年々減少傾向にあることが見て取れます。貿易統計上比較が可能な 1988 年の統計データによると、当時の日本酒の輸出は 12 の港（空港含む）から行われ、神戸港が数量・金額ともに約 6 割のシェアを占めていました。神戸港は、国内の日本酒生産量約 3 割を占める兵庫県の玄関口であり、加えて近隣の酒どころで生産された日本酒も集荷・出荷される港として機能し、世界各地への航路を背景に日本酒輸出の中心的な役割を担っていました。



その後、蔵元所在地に近い港からの輸出が増加し、2025 年には輸出港（空港含む）が 43 か所に拡大しました。これに伴い、神戸港の輸出量シェアは徐々に低下しています。また、神戸港では輸出数量に比べて金額比率が低い傾向があります。神戸港から輸出する酒造メーカーは自社で輸出を行うケースが多く、商社を介した取引に比べて商品単価が低くなるのが主な理由です。一方、他港では付加価値の高い高価格帯商品の輸出が増加しており、相対的に単価が高くなっています。

○日本の酒どころ

日本酒は、日本の食文化を象徴する伝統的な醸造酒であり、全国各地に生産が盛んな「酒どころ」があります。これらの地域では、日本酒造りに適した自然環境と、長年培われた伝統技術が融合し、多様で高品質な日本酒を生み出しています。その中でも「三大酒どころ」と呼ばれているのが、兵庫の灘、京都の伏見、広島の西条です。（諸説あります。）

灘（兵庫県）

兵庫県の灘は、日本最大級の酒どころで、力強い味わいの「男酒」と呼ばれています。六甲山系の硬水「宮水」と寒造りの技術が生み出す酒は、キレがあり辛口で、全国的に高い評価を受けています。江戸時代から酒造りが盛んで、海運を活かした流通により灘の酒は広く普及しました。現在も多くの酒蔵が集まり、伝統と最新技術を融合させた酒造りが続いています。

伏見（京都府）

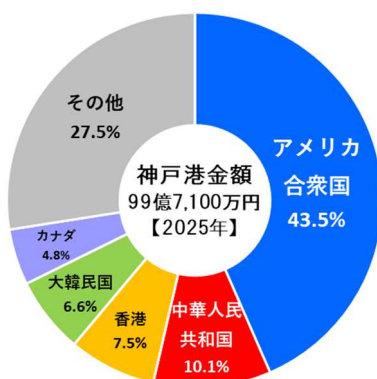
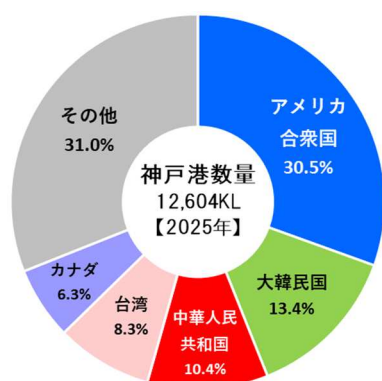
京都・伏見は、豊かな地下水「伏水」と穏やかな気候に恵まれています。軟水を用いた酒は、まろやかでやさしい味わいが特徴で、灘の力強い「男酒」に対して「女酒」と称されます。江戸時代から酒造りが盛んで、京料理との相性も抜群。現在も多くの酒蔵が集まり、伝統と革新が息づく地域です。

西条（広島県）

広島県の西条は、豊かな水と温暖な気候に恵まれた酒造りの町です。特に賀茂川の清冽な水を活かした酒は、芳醇でまろやかな味わいが特徴です。江戸時代から酒造業が発展し、現在も多くの酒蔵が軒を連ねる「酒蔵通り」が観光名所となっています。伝統と文化が息づく西条は、酒好きにとって魅力あふれる地域です。

(3) 国・地域別輸出実績

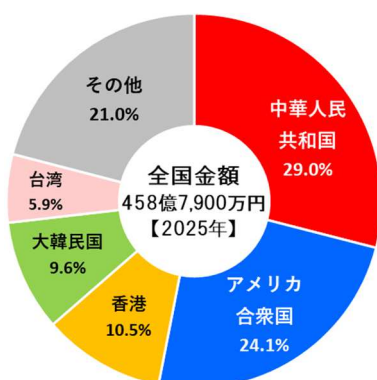
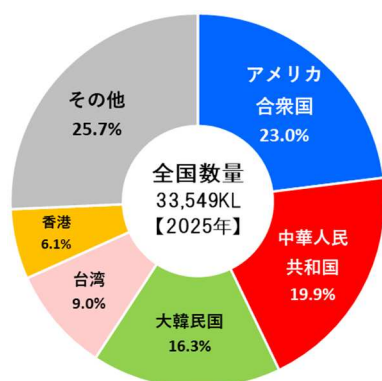
・日本から 81 カ国・地域向けに輸出！



【神戸港】

2025 年は、アメリカ、中国、香港、韓国ほか計 53 カ国・地域向けに輸出がありました。

アメリカや中国、カナダ向けは瓶のものが多く輸出されているそうです。香港向けは高価なものが好まれ、韓国や台湾向けは紙パックが多いとのこと。

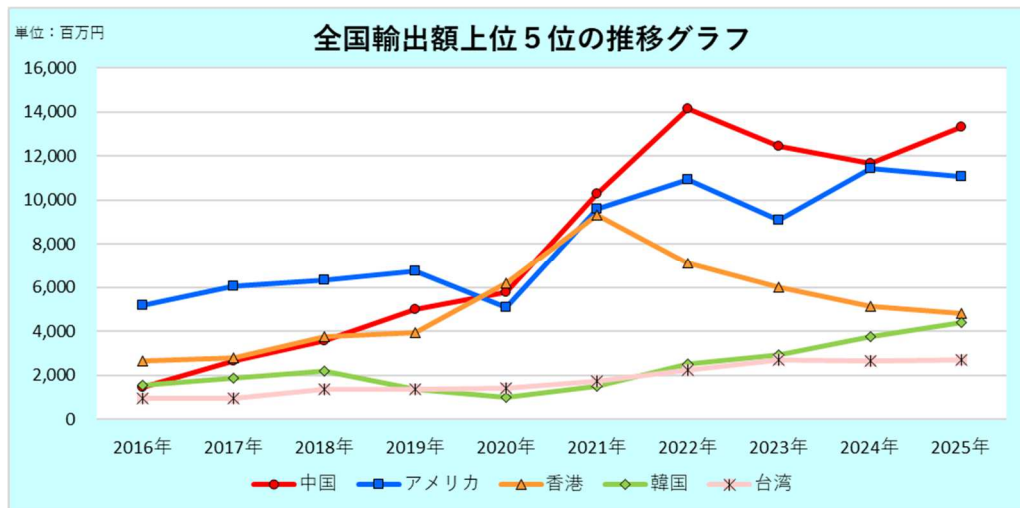


【全 国】

中国、アメリカ、香港、韓国ほか計 81 カ国・地域向けに輸出がありました。

輸出金額を数量で割って算出した平均単価はリットルあたり、アメリカ 1,431 円、中国 1,998 円、韓国 802 円、台湾 889 円、香港 2,376 円となっています。

【輸出額の推移】



全国輸出額、上位 5 カ国・地域における 10 年間の推移グラフです。中国・アメリカ向けが大きく増えていますが、国際情勢の変化により行先は不透明だとのこと。香港については 2021 年をピークに減少傾向にあります。

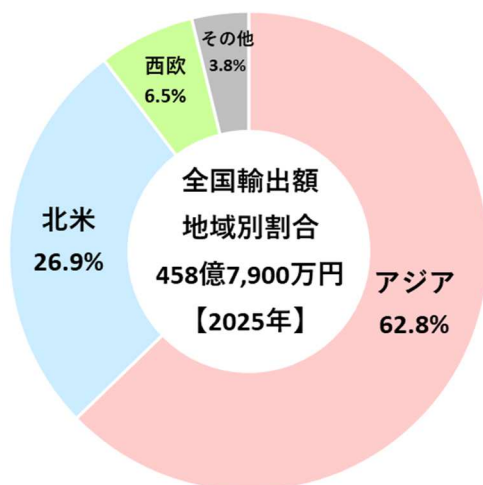
○海外での清酒生産について

近年、海外においても清酒の生産が広がりつつあります。アメリカやヨーロッパ、アジア各地では、日本の酒造メーカーや杜氏（とうじ：日本酒造りの匠）が技術支援に関わり、本格的な酒造りが行われている事例が増えています。また、現地の醸造家が独自に清酒製造を学び、自らの取り組みとして醸造を行う動きも広がっているそうです。

こうした背景から、海外産清酒は年々品質や味わいが向上し、多様性も増えています。海外で清酒を生産する利点としては、消費地に近い場所で製造できる点が挙げられ、輸送時間を要しないことから、日本からの輸出が難しい生酒など、フレッシュ感を重視した商品を提供できることが特徴とのこと。

このように、現地生産の清酒の存在感は高まりつつあり、日本から輸出される日本酒と市場で競合する場面も見られるようになっているそうです。

他の国は？



アジア (19ヵ国)	数量(KL)	金額(百万円)
中華人民共和国	6,660	13,304
香港	2,030	4,824
大韓民国	5,483	4,395
台湾	3,035	2,698
シンガポール	687	1,504
タイ	625	479
ベトナム	374	471
マレーシア	369	443
マカオ	58	177
カンボジア	65	119
フィリピン	108	116
インドネシア	60	111
ミャンマー	18	60
ラオス	27	32
インド	29	24
その他	25	35
合計	19,654	28,793

北米 (2ヵ国)	数量(KL)	金額(百万円)
アメリカ合衆国	7,720	11,045
カナダ	1,309	1,312
合計	9,029	12,357

西欧 (22ヵ国)	数量(KL)	金額(百万円)
フランス	466	628
英国	431	617
オランダ	495	405
ドイツ	599	365
イタリア	370	296
スペイン	281	232
スウェーデン	91	115
スイス	153	112
その他	190	203
合計	3,077	2,972

他地域 (38ヵ国)	数量(KL)	金額(百万円)
オーストラリア (大洋州)	654	844
ブラジル (中南米)	347	220
アラブ首長国連邦 (中東)	82	145
メキシコ (中南米)	97	119
イスラエル (中東)	177	106
ニュージーランド (大洋州)	131	90
ポーランド (中東欧)	127	42
南アフリカ共和国 (アフリカ)	35	36
その他	139	155
合計	1,789	1,757

※地域区分は財務省貿易統計の区分によるものです。

2025年の全国輸出金額別のデータをみると、アジア・北米・西欧の3地域で全体の96.2%を占めています。右側の表は、それぞれの地域について国別の数量と金額の内訳を示しています。

輸出先の中には、宗教上の理由から一般的には飲酒が制限されている国も含まれています。こうした国では、観光客や外資系企業関係者、富裕層など、宗教上の飲酒制限のない消費層を対象に酒類の販売が認められており、その需要を背景に輸入酒市場が形成されています。

現在、アジア圏を中心に日本食チェーンの進出が相次いでおり、これを追い風に日本酒の認知拡大を見込む声や、オーストラリア・中南米向けの伸びを実感する声も聞かれます。

日本酒が既に浸透している国の高級飲食店では「日本酒はワインよりも料理に合わせやすい。」といった評価もあるとのこと。

また、輸出先の国によってルールや好まれる容量・容器には違いがあり、国ごとにきめ細かな対応が求められています。近年は、若者を中心に脱アルコール志向が高まっていることから、低アルコール商品へのニーズも拡大しているそうです。

○GI 認証について

日本酒には「GI（地理的表示）認証」という制度があります。これは、そのお酒がどこで、どのように造られたかを明確に示し、地域ごとの品質や伝統を守るための仕組みです。日本の酒類におけるGI制度は1995年に地理的表示の保護制度が始まったことが起源で、2015年の制度改正で日本酒を含むすべての酒類がGI対象として明確に整備されました。

「日本酒」という名称もGIとして登録されており、国内産米のみを使い、日本国内で製造された清酒だけが「日本酒」と名乗ることができます。近年は海外での清酒生産が増えているため、「日本酒」と「外国産清酒」を区別するうえでも、このGIの役割が一層重要になっています。

また、「灘五郷」「山形」「白山」などの地域もGIに指定され、その土地ならではの気候や水、伝統技術を活かした酒造りがしっかりと保護されています。

さらに、GI制度の認知が進むにつれ、GIの名称をラベルに表示する酒蔵も年々増加しており、地域ブランドの価値向上や海外市場での信頼性確保に役立っています。

GI認証は、日本酒の品質、信頼性、さらには地域の文化と産業を未来へつなぐ大きな役割を果たしている制度です。



3. おわりに

2013年12月に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に、世界的な和食ブームが広がり、海外の日本食レストランは急速に増加し、2013年には約5.5万店だった店舗数は、2025年には18.1万店へと大きく拡大しています（出典：農林水産省『海外における日本食レストラン数の調査結果』）。こうした和食人気の高まりに合わせてるように日本酒の輸出も伸びており、訪日旅行の際に日本酒を味わってその魅力を知った人々が、帰国後も自国で日本酒を楽しむことで需要が広がっていることもあるようです。和食文化の評価向上とインバウンド体験が相互に作用し、日本酒輸出を後押ししていると言えるでしょう。

今回お話を伺った酒造メーカーの方は、世界市場の広がりを前向きに捉えつつ、日本酒輸出の将来について次のように話されました。

「海外で日本酒の需要が高まっていることは、日本酒本来の味わいや品質が評価されている証であり、そうした海外での評価が、日本国内においても日本酒の魅力を改めて認識してもらうきっかけになる。」

「世界全体を見れば、日本酒の認知度はまだ十分とは言えず、今後はさらなる輸出拡大に向けて取り組みを強めていきたい。」

「日本酒は日本料理に限らず、各国の多様な料理とも調和し得る酒であり、“世界のローカルフードに寄り添える酒”として、その魅力を積極的に発信していきたい。」

各社とも、日本酒の国際的な評価の広がりを追い風に、認知向上と市場拡大に向けた取り組みを主体的かつ継続的に進めていく考えです。

日本酒の海外展開が進展する中、アメリカ大リーグ球団とのコラボレーションによる商品展開や、世界有数の映画祭の場で日本酒が提供される事例などが注目を集めています。

長年培われてきた日本酒の文化が、輸出の拡大を通じて世界に羽ばたいていくことを願いつつ、今後の日本酒の輸出動向に期待したいと思います。



○本資料を転載するときは、神戸税関の資料に基づく旨を注記してください。

○本資料に関しては、以下にお問い合わせください。

神戸税関調査部調査統計課 TEL 078-333-3065

神戸税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/kobe/>



税関イメージキャラクター
カスタム君



神戸税関イメージキャラクター
カスタムちゃん

日本酒の輸出数値表＜輸出統計品目番号 2206.00-200＞

◆輸出実績推移

年	全国				神戸港					
	数量（KL）		金額（百万円）		数量（KL）			金額（百万円）		
		前年比		前年比		前年比	全国比		前年比	全国比
1988年	6,588	—	2,221	—	3,993	—	60.6%	1,327	—	59.7%
1989年	6,783	103.0%	2,550	114.8%	3,699	92.6%	54.5%	1,352	101.9%	53.0%
1990年	6,888	101.6%	2,680	105.1%	3,782	102.3%	54.9%	1,445	106.9%	53.9%
1991年	7,398	107.4%	2,833	105.7%	4,035	106.7%	54.5%	1,485	102.7%	52.4%
1992年	6,945	93.9%	2,664	94.0%	4,200	104.1%	60.5%	1,500	101.0%	56.3%
1993年	7,673	110.5%	2,709	101.7%	4,284	102.0%	55.8%	1,441	96.1%	53.2%
1994年	8,833	115.1%	3,043	112.3%	4,461	104.1%	50.5%	1,462	101.5%	48.0%
1995年	8,613	97.5%	2,967	97.5%	2,873	64.4%	33.4%	911	62.3%	30.7%
1996年	10,402	120.8%	3,886	131.0%	4,600	160.1%	44.2%	1,601	175.8%	41.2%
1997年	8,364	80.4%	3,584	92.2%	3,338	72.6%	39.9%	1,300	81.2%	36.3%
1998年	8,089	96.7%	3,375	94.2%	3,825	114.6%	47.3%	1,320	101.5%	39.1%
1999年	7,292	90.2%	2,843	84.3%	3,374	88.2%	46.3%	1,073	81.3%	37.7%
2000年	7,417	101.7%	3,009	105.8%	3,767	111.6%	50.8%	1,135	105.8%	37.7%
2001年	7,052	95.1%	3,192	106.1%	3,572	94.8%	50.7%	1,190	104.8%	37.3%
2002年	7,504	106.4%	3,521	110.3%	3,510	98.3%	46.8%	1,222	102.7%	34.7%
2003年	8,270	110.2%	3,922	111.4%	3,678	104.8%	44.5%	1,236	101.1%	31.5%
2004年	8,796	106.4%	4,534	115.6%	4,005	108.9%	45.5%	1,422	115.1%	31.4%
2005年	9,537	108.4%	5,339	117.7%	4,039	100.8%	42.3%	1,510	106.2%	28.3%
2006年	10,269	107.7%	6,105	114.4%	4,185	103.6%	40.8%	1,721	114.0%	28.2%
2007年	11,334	110.4%	7,048	115.4%	4,491	107.3%	39.6%	2,011	116.8%	28.5%
2008年	12,151	107.2%	7,676	108.9%	5,055	112.5%	41.6%	2,239	111.3%	29.2%
2009年	11,949	98.3%	7,184	93.6%	5,020	99.3%	42.0%	2,203	98.4%	30.7%
2010年	13,770	115.2%	8,500	118.3%	5,875	117.0%	42.7%	2,669	121.1%	31.4%
2011年	14,022	101.8%	8,776	103.2%	6,172	105.1%	44.0%	2,989	112.0%	34.1%
2012年	14,131	100.8%	8,946	101.9%	6,471	104.8%	45.8%	3,123	104.5%	34.9%
2013年	16,202	114.7%	10,524	117.6%	7,379	114.0%	45.5%	3,776	120.9%	35.9%
2014年	16,314	100.7%	11,507	109.3%	7,463	101.1%	45.7%	4,035	106.9%	35.1%
2015年	18,180	111.4%	14,011	121.8%	8,504	113.9%	46.8%	4,946	122.6%	35.3%
2016年	19,737	108.6%	15,581	111.2%	9,432	110.9%	47.8%	5,748	116.2%	36.9%
2017年	23,482	119.0%	18,679	119.9%	11,663	123.7%	49.7%	7,123	123.9%	38.1%
2018年	25,747	109.6%	22,232	119.0%	12,120	103.9%	47.1%	7,538	105.8%	33.9%
2019年	24,928	96.8%	23,412	105.3%	11,559	95.4%	46.4%	6,801	90.2%	29.0%
2020年	21,761	87.3%	24,141	103.1%	9,766	84.5%	44.9%	6,013	88.4%	24.9%
2021年	32,052	147.3%	40,178	166.4%	14,102	144.4%	44.0%	10,061	167.3%	25.0%
2022年	35,894	112.0%	47,489	118.2%	14,677	104.1%	40.9%	11,185	111.2%	23.6%
2023年	29,194	81.3%	41,063	86.5%	10,909	74.3%	37.4%	8,803	78.7%	21.4%
2024年	31,054	106.4%	43,456	105.8%	11,894	109.0%	38.3%	10,043	114.1%	23.1%
2025年	33,549	108.0%	45,879	105.6%	12,604	106.0%	37.6%	9,971	99.3%	21.7%

◆港別輸出実績（数量）													（数量：KL）
年	全国	神戸港		東京港		横浜港		大阪港		博多港		その他	
			全国比		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比
2016年	19,737	9,432	47.8%	3,949	20.0%	2,187	11.1%	2,094	10.6%	311	1.6%	1,764	8.9%
2017年	23,482	11,663	49.7%	4,237	18.0%	2,543	10.8%	2,146	9.1%	453	1.9%	2,440	10.4%
2018年	25,747	12,120	47.1%	3,866	15.0%	2,688	10.4%	2,558	9.9%	589	2.3%	3,928	15.3%
2019年	24,928	11,559	46.4%	2,901	11.6%	2,975	11.9%	3,051	12.2%	850	3.4%	3,591	14.4%
2020年	21,761	9,766	44.9%	2,898	13.3%	2,671	12.3%	3,178	14.6%	689	3.2%	2,557	11.8%
2021年	32,052	14,102	44.0%	4,896	15.3%	4,461	13.9%	3,631	11.3%	807	2.5%	4,155	13.0%
2022年	35,894	14,677	40.9%	6,039	16.8%	5,828	16.2%	3,874	10.8%	894	2.5%	4,581	12.8%
2023年	29,194	10,909	37.4%	5,036	17.2%	4,643	15.9%	3,418	11.7%	640	2.2%	4,548	15.6%
2024年	31,054	11,894	38.3%	5,643	18.2%	4,688	15.1%	2,905	9.4%	1,059	3.4%	4,865	15.7%
2025年	33,549	12,604	37.6%	5,774	17.2%	5,253	15.7%	3,310	9.9%	1,440	4.3%	5,168	15.4%

◆港別輸出実績（金額）													（金額：百万円）
年	全国	神戸港		東京港		横浜港		大阪港		博多港		その他	
			全国比		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比
2016年	15,581	5,748	36.9%	4,430	28.4%	2,301	14.8%	1,205	7.7%	273	1.8%	1,624	10.4%
2017年	18,679	7,123	38.1%	4,563	24.4%	2,667	14.3%	1,258	6.7%	402	2.1%	2,666	14.3%
2018年	22,232	7,538	33.9%	4,117	18.5%	2,951	13.3%	1,580	7.1%	658	3.0%	5,389	24.2%
2019年	23,412	6,801	29.0%	3,954	16.9%	3,329	14.2%	2,507	10.7%	1,372	5.9%	5,450	23.3%
2020年	24,141	6,013	24.9%	4,437	18.4%	4,002	16.6%	2,988	12.4%	1,232	5.1%	5,468	22.7%
2021年	40,178	10,061	25.0%	9,645	24.0%	7,125	17.7%	3,202	8.0%	1,681	4.2%	8,464	21.1%
2022年	47,489	11,185	23.6%	10,808	22.8%	11,893	25.0%	3,477	7.3%	1,390	2.9%	8,736	18.4%
2023年	41,063	8,803	21.4%	8,193	20.0%	10,520	25.6%	4,315	10.5%	1,012	2.5%	8,219	20.0%
2024年	43,456	10,043	23.1%	9,312	21.4%	9,295	21.4%	3,297	7.6%	2,352	5.4%	9,157	21.1%
2025年	45,879	9,971	21.7%	9,957	21.7%	9,298	20.3%	3,212	7.0%	3,446	7.5%	9,994	21.8%

◆国・地域別実績（全国数量）													（数量：KL）
年	全世界	中華人民共和国		アメリカ合衆国		香港		大韓民国		台湾		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2016年	19,737	1,910	9.7%	5,108	25.9%	1,877	9.5%	3,695	18.7%	2,096	10.6%	5,051	25.6%
2017年	23,482	3,341	14.2%	5,780	24.6%	1,807	7.7%	4,798	20.4%	1,985	8.5%	5,771	24.6%
2018年	25,747	4,146	16.1%	5,952	23.1%	2,097	8.1%	5,351	20.8%	2,238	8.7%	5,963	23.2%
2019年	24,928	5,145	20.6%	6,452	25.9%	1,926	7.7%	2,912	11.7%	2,246	9.0%	6,247	25.1%
2020年	21,761	4,772	21.9%	5,270	24.2%	2,629	12.1%	1,535	7.1%	2,273	10.4%	5,282	24.3%
2021年	32,052	7,268	22.7%	8,826	27.5%	3,243	10.1%	2,418	7.5%	2,648	8.3%	7,648	23.9%
2022年	35,894	7,388	20.6%	9,084	25.3%	2,717	7.6%	4,054	11.3%	3,076	8.6%	9,575	26.7%
2023年	29,194	5,792	19.8%	6,502	22.3%	2,328	8.0%	4,192	14.4%	3,104	10.6%	7,276	24.9%
2024年	31,054	5,323	17.1%	8,003	25.8%	2,015	6.5%	4,894	15.8%	2,890	9.3%	7,930	25.5%
2025年	33,549	6,660	19.9%	7,720	23.0%	2,030	6.1%	5,483	16.3%	3,035	9.0%	8,620	25.7%

◆国・地域別実績（全国金額）													（金額：百万円）
年	全世界	中華人民共和国		アメリカ合衆国		香港		大韓民国		台湾		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2016年	15,581	1,449	9.3%	5,196	33.3%	2,630	16.9%	1,562	10.0%	931	6.0%	3,812	24.5%
2017年	18,679	2,660	14.2%	6,039	32.3%	2,799	15.0%	1,864	10.0%	948	5.1%	4,369	23.4%
2018年	22,232	3,587	16.1%	6,313	28.4%	3,774	17.0%	2,212	10.0%	1,351	6.1%	4,994	22.5%
2019年	23,412	5,001	21.4%	6,757	28.9%	3,943	16.8%	1,360	5.8%	1,359	5.8%	4,992	21.3%
2020年	24,141	5,792	24.0%	5,070	21.0%	6,178	25.6%	979	4.1%	1,430	5.9%	4,692	19.4%
2021年	40,178	10,279	25.6%	9,591	23.9%	9,308	23.2%	1,503	3.7%	1,726	4.3%	7,771	19.3%
2022年	47,489	14,161	29.8%	10,930	23.0%	7,116	15.0%	2,523	5.3%	2,222	4.7%	10,537	22.2%
2023年	41,063	12,447	30.3%	9,091	22.1%	6,024	14.7%	2,905	7.1%	2,677	6.5%	7,920	19.3%
2024年	43,456	11,671	26.9%	11,442	26.3%	5,117	11.8%	3,743	8.6%	2,670	6.1%	8,813	20.3%
2025年	45,879	13,304	29.0%	11,045	24.1%	4,824	10.5%	4,395	9.6%	2,698	5.9%	9,612	21.0%

◆国・地域別実績（神戸港数量）												（数量：KL）	
年	全世界	アメリカ合衆国		中華人民共和国		香港		大韓民国		カナダ		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2016年	9,432	2,754	29.2%	1,114	11.8%	727	7.7%	1,190	12.6%	438	4.6%	3,209	34.0%
2017年	11,663	3,217	27.6%	2,011	17.2%	604	5.2%	1,774	15.2%	517	4.4%	3,540	30.4%
2018年	12,120	3,263	26.9%	2,077	17.1%	697	5.7%	2,057	17.0%	454	3.7%	3,571	29.5%
2019年	11,559	3,437	29.7%	2,243	19.4%	625	5.4%	1,089	9.4%	476	4.1%	3,689	31.9%
2020年	9,766	3,292	33.7%	1,602	16.4%	867	8.9%	410	4.2%	379	3.9%	3,217	32.9%
2021年	14,102	5,241	37.2%	2,328	16.5%	817	5.8%	922	6.5%	431	3.1%	4,362	30.9%
2022年	14,677	5,142	35.0%	1,997	13.6%	710	4.8%	1,287	8.8%	614	4.2%	4,928	33.6%
2023年	10,909	3,411	31.3%	1,302	11.9%	680	6.2%	1,193	10.9%	448	4.1%	3,875	35.5%
2024年	11,894	4,346	36.5%	1,108	9.3%	562	4.7%	1,407	11.8%	574	4.8%	3,897	32.8%
2025年	12,604	3,845	30.5%	1,312	10.4%	608	4.8%	1,695	13.4%	791	6.3%	4,354	34.5%

◆国・地域別実績（神戸港金額）												（金額：百万円）	
年	全世界	アメリカ合衆国		中華人民共和国		香港		大韓民国		カナダ		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2016年	5,748	2,349	40.9%	757	13.2%	519	9.0%	401	7.0%	191	3.3%	1,531	26.6%
2017年	7,123	2,795	39.2%	1,398	19.6%	481	6.8%	531	7.5%	224	3.1%	1,694	23.8%
2018年	7,538	2,925	38.8%	1,326	17.6%	663	8.8%	632	8.4%	211	2.8%	1,782	23.6%
2019年	6,801	2,766	40.7%	1,210	17.8%	557	8.2%	355	5.2%	219	3.2%	1,693	24.9%
2020年	6,013	2,528	42.0%	817	13.6%	688	11.4%	163	2.7%	177	2.9%	1,641	27.3%
2021年	10,061	4,597	45.7%	1,518	15.1%	879	8.7%	315	3.1%	309	3.1%	2,442	24.3%
2022年	11,185	4,843	43.3%	1,282	11.5%	892	8.0%	451	4.0%	581	5.2%	3,136	28.0%
2023年	8,803	3,984	45.3%	834	9.5%	948	10.8%	470	5.3%	313	3.6%	2,254	25.6%
2024年	10,043	5,044	50.2%	820	8.2%	768	7.6%	555	5.5%	410	4.1%	2,447	24.4%
2025年	9,971	4,333	43.5%	1,010	10.1%	750	7.5%	657	6.6%	481	4.8%	2,741	27.5%

◆港別平均通関単価の推移（円／L）													
年	神戸港	東京港	横浜港	博多港	大阪港	門司港	成田空港	新潟港	名古屋港	広島港	関西空港	羽田空港	川崎港
2016年	609	1,122	1,052	879	575	1,069	4,320	548	726	426	2,064	2,105	—
2017年	611	1,077	1,049	886	586	2,824	4,978	473	717	1,027	1,563	2,427	1,458
2018年	622	1,065	1,098	1,117	618	3,808	7,898	578	752	1,071	3,247	2,056	1,409
2019年	588	1,363	1,119	1,614	821	2,577	9,924	666	813	927	3,176	1,961	1,408
2020年	616	1,531	1,498	1,788	940	2,068	17,217	726	939	1,897	4,494	1,874	1,371
2021年	713	1,970	1,597	2,083	882	2,534	8,473	725	1,006	2,274	5,269	1,925	1,490
2022年	762	1,790	2,041	1,554	898	2,854	9,316	845	911	1,837	7,760	1,695	1,583
2023年	807	1,627	2,266	1,582	1,262	2,666	12,282	828	973	1,831	7,095	1,837	1,765
2024年	844	1,650	1,983	2,222	1,135	2,964	10,453	902	885	2,205	5,027	1,944	1,749
2025年	791	1,724	1,770	2,393	971	3,007	11,867	867	1,050	1,911	8,376	2,140	1,523

◆主要国・地域別平均通関単価の推移（円／L）													
年	中国	アメリカ	香港	韓国	台湾	シンガポール	カナダ	オーストラリア	フランス	英国	タイ	ベトナム	マレーシア
2016年	759	1,017	1,401	423	444	1,181	661	885	1,162	1,019	521	737	902
2017年	796	1,045	1,549	389	478	1,305	684	891	1,002	896	535	711	915
2018年	865	1,061	1,800	413	604	1,372	774	889	1,006	1,087	497	953	864
2019年	972	1,047	2,047	467	605	1,406	766	908	1,055	1,059	440	861	955
2020年	1,214	962	2,350	638	629	1,619	782	935	958	976	451	816	899
2021年	1,414	1,087	2,870	621	652	1,960	902	977	1,117	1,119	463	910	998
2022年	1,917	1,203	2,619	622	722	2,535	1,156	1,156	1,226	1,254	626	1,019	1,075
2023年	2,149	1,398	2,588	693	863	2,163	1,125	1,212	1,320	1,351	615	1,166	1,223
2024年	2,193	1,430	2,539	765	924	2,114	1,124	1,154	1,265	1,508	671	1,209	1,091
2025年	1,998	1,431	2,376	802	889	2,190	1,002	1,290	1,348	1,432	765	1,260	1,202